

@IT

Cloud Native Week

2022 autumn



「なんちゃってクラウドネイティブ」は許さない！
本質を学んで「実りの秋」に近づこう

Produce by



開催概要

主催



開催日時

2022年9月14日(水)～16日(金)
※調整中

イベント形式

集合型オンラインセミナー

事前申込者数

約500名想定

想定視聴者
属性

経営者、経営企画の方、社内情報システムの運用・方針策定をする立場の方、企業情報システム部門の企画担当者、運用管理者、SIer など

本内容は予告なく**変更または実施を中止する場合がございます**。あらかじめご了承ください。
ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

過去開催実績

Cloud Native Week 2021冬

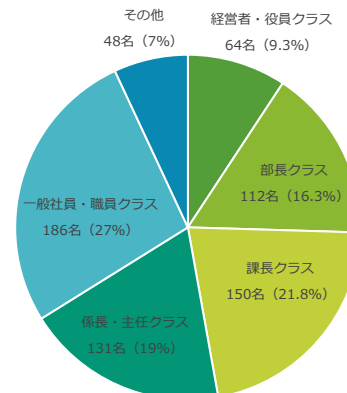
▼開催期間

2021年11月15日(月)～11月17日(水)

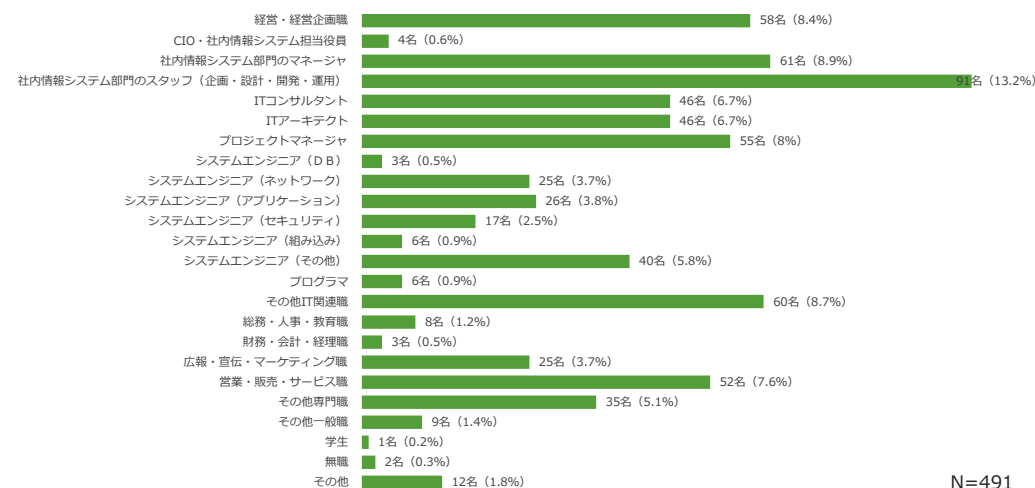
▼申込者数

691名

来場者役職



来場者職種



N=491

Producer's Comment

一般企業でもクラウドネイティブに向けた取り組みが始まっているが「クラウドネイティブ」の言葉が先行し、蓋を開けてみれば「クラウドを使っているだけ」「インフラをクラウドに載せ替えただけ」「単なる仮想化環境」「手作業が中心」というケースも聞かれる。

本イベントではあらためてクラウドネイティブの本質にフォーカス。
「なんちゃってクラウドネイティブ」の誤解をキーパーソンがぶった切り、
正しい道を照らし出す“救済”の3日間。
クラウドネイティブの本質を押さえて実りの秋を満喫しよう。



Cloud Native Week

「なんちゃってクラウドネイティブ」は許さない！
本質を学んで「実りの秋」に近づこう

Section1

ITインフラ

ITサービスを効率よく迅速に提供するためのITインフラを変革させる
ヒントを解き明かしていく。

Section2

開発・運用

クラウドネイティブを志向していくための開発、運用体制の在り方を明確化する。

Section3

セキュリティ

クラウドネイティブにおけるセキュリティ対策の勘所を探る。

Section1

ITインフラ

ビジネスの柱であり、収益獲得の手段であるITサービスを効率よく迅速に提供するには、柔軟性を持ちつつ回復力の高いITインフラを構築することが不可欠だ。だが、既存のITインフラは堅牢性を第一に構築されている。クラウドネイティブ時代、既存のITインフラを正しく変革させるためのヒントを解き明かしていく。

Key word

クラウド移行サービス、クラウドインテグレーション、ハイブリッドクラウド管理製品、SDDC (Software-Defined Data Center)、SDS (Software Defined Storage)、HCI、マネージドクラウドサービス、オンプレミス従量課金サービス、NewSQL

視聴者の抱える課題意識

- ・ハイブリッドワークが増える中で既存ITインフラが課題になっている
- ・クラウドの特性を生かすITインフラの構築に悩んでいる
- ・クラウドネイティブ以前に、オンプレ運用負荷・コストに悩み、クラウド移行を考えている

Section2

開発・運用

急速にクラウドを活用する動きは広まっているが、クラウドを利用するだけで真のクラウドネイティブは実現できない。
クラウドネイティブを志向していくための開発、運用体制の在り方を明確化する。

Key word

アジャイル開発やDevOps、CI/CDの導入支援、マイクロサービス、コンテナ／Kubernetes向けソリューション、内製化支援ツール／サービス、CI/CDの計測による高速化、コンテナ／Kubernetes環境における可観測性（オブザーバビリティ）、APM製品／サービス、API公開支援／管理製品、マルチクラウド管理／監視ソリューション、分散クラウド管理製品、統合運用管理

視聴者の抱える課題意識

- ・クラウドネイティブアプリケーションのビジネスメリットが分からない
- ・クラウドネイティブ開発、運用の仕組み、取り組みのポイントが分からない
- ・クラウドネイティブに関するプロジェクトがPoCで終わってしまう

Section 3

セキュリティ

ビジネスの要となるが故に、近年、サイバー攻撃者はクラウドを標的とする傾向を強めている。特に、公開されているアプリケーション資産の漏えい事件や、サービス活用におけるプロセス、クラウド設定の脆弱性を突く攻撃が世間を賑わせている。せっかくアプリケーションを開発、リリースしても、セキュリティにおける誤解があっては、ビジネス上の損失を招く結果になってしまう。本ゾーンでは、クラウドネイティブにおけるセキュリティ対策の勘所を探る。

Key word

クラウド ネイティブ セキュリティ、コンテナセキュリティ、マイクロサービスセキュリティ、マルチクラウドセキュリティ、APIセキュリティ、ペネトレーションテスト、脅威モデリング、DevSecOps、OSS脆弱性、脆弱性管理、CASB、CSPM、IDaaS

視聴者の抱える課題意識

- ・クラウドアプリケーションの安全な利用に悩んでいる
- ・クラウド ネイティブなインフラを狙ったサイバー攻撃に悩んでいる
- ・クラウドネイティブ開発における脆弱性管理に悩んでいる

初日は基調講演の前に10分程度の主催挨拶を行います。
@IT編集部から見たトレンドについてのトークで、読者を基調講演やスポンサーセッションに誘導します。



アイティメディア株式会社
編集局 IT編集統括部
統括編集長
内野宏信

	Section1 ITインフラ	Section2 開発・運用	Section3 セキュリティ
13:00～ 13:40	主催挨拶 & 基調講演 1-1	基調講演 2-1	基調講演 3-1
13:50～ 14:20	スポンサーセッション 1-1	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-1
14:30～ 15:00	スポンサーセッション 1-2	スポンサーセッション 2-1	スポンサーセッション 3-2
15:10～ 15:50	スポンサーセッション 1-3	スポンサーセッション 2-3	スポンサーセッション 3-3
16:00～ 16:30	スポンサーセッション 1-4	スポンサーセッション 2-4	スポンサーセッション 3-4

各セッション枠時間 基調講演：40分 スポンサーセッション：30分

※上記タイムテーブルは変更となる可能性があります。

Sponsored Menu



Cloud Native Week

ご協賛プランは以下の4種類をご用意

プラチナ

スポンサーセッション1枠と、イベント全申込者リストをご提供するプランです。
貴社セッションを視聴した関心度の高い読者から、
イベント全体の申込者まで幅広いリストを獲得可能です。

ゴールド

スポンサーセッション1枠と、協賛セクション事前申込者リストをご提供するプランです。
協賛セクションのテーマに興味がある参加者へアプローチすることが可能です。

全リスト

イベント全体の事前申込者リストをご提供するプランです。
スポンサーセッションの準備が難しい場合でも、多くのリストを獲得することが可能です。

セクションリスト

セクション単位での事前申込者リストをご提供するプランです。
協賛セクションのテーマに興味がある視聴者のリストを獲得することが可能です。

スポンサーセッション

30分のセッション枠をご活用いただけます。
ITmediaのカメラやマイクなどの機材を使用して手軽にセッションを行っていただけます。
ご来社が難しい場合は動画データをご納品いただき、当日配信することも可能です。

ITmediaで撮影したライブ配信の動画を
データ納品する追加オプションあります！(税別5万円)



プラチナ

全リスト

ゴールド

セクション

セッションアンケート

貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施いただくことが可能です。
回答形式は単一回答、複数回答、自由回答の3種類を組み合わせて自由に設定いただけます。



プラチナ

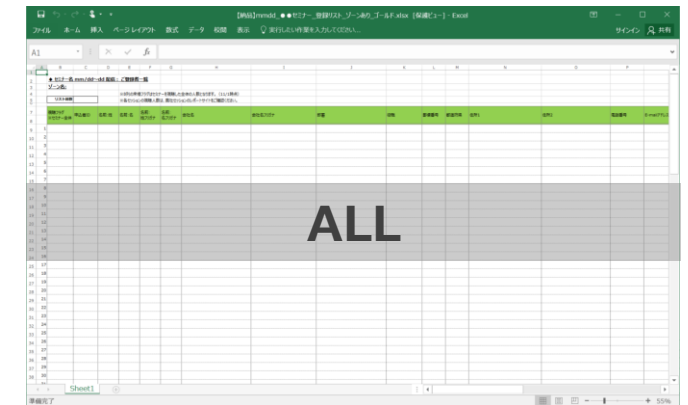
全リスト

ゴールド

セクション

全申込者リスト

全申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。
申込者リストはイベント終了後3～5営業日以内に Report Centerシステム経由でExcelデータ形式にて納品させていただきます。



プラチナ

全リスト

ゴールド

セクション

協賛セクション申込者リスト

協賛セクションの申込者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報をリストにてご提供します。

※事前申込時に該当セクションを視聴希望としてチェックしている人(任意/申込時1カ所以上の視聴希望必須)のリストがご納品対象です。

プラチナ

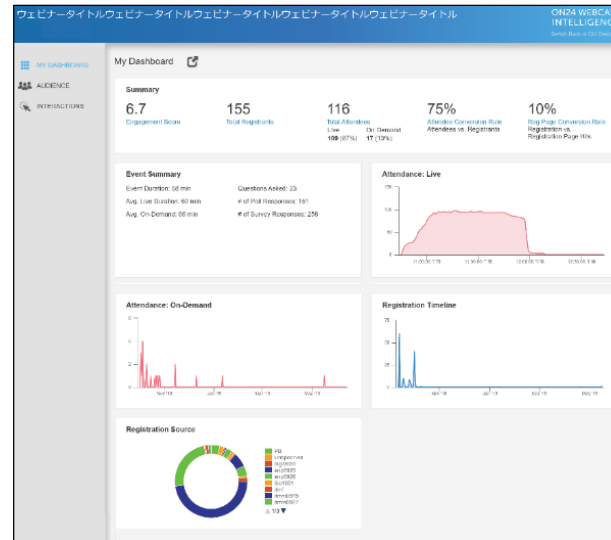
全リスト

ゴールド

セクション

自セッションの 視聴者データ・レポートサイト

貴社セッションのレポートサイトをご提供します。
セッション視聴者の「会社名」「部署名」「役職」「電話番号」「メールアドレス」など、名刺情報もDL可能です。



プラチナ

全リスト

ゴールド

セクション

事前アンケート結果

事前登録時に製品選定における立場や抱えている課題等を尋ねており、これらの回答内容をお渡しする申込者リスト内に反映してご提供します。
見込み客の選別やアポイントを取るときの事前情報としてお役立てください。
(設問はITmedia設定)

プラチナ

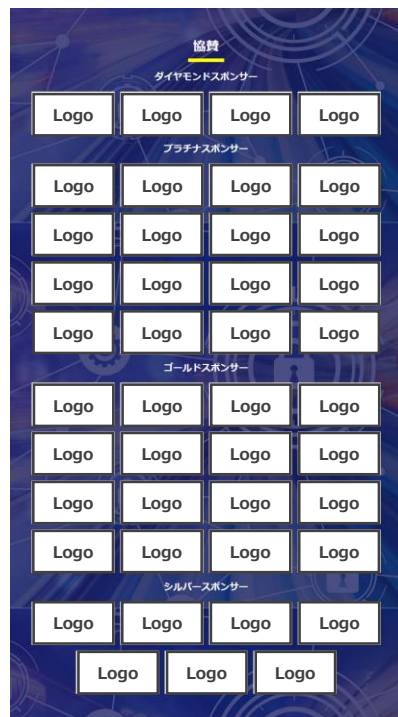
全リスト

ゴールド

セクション

※画像はすべて参考イメージになります。

スポンサーロゴ掲載



イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載し、貴社サイトへのリンクを設定いたします。

プラチナ

全リスト

ゴールド

セクション

配布資料

貴社セッション内で視聴者に向けて、ご講演資料 + 3点まで資料の配布が可能です。
PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能です。



プラチナ

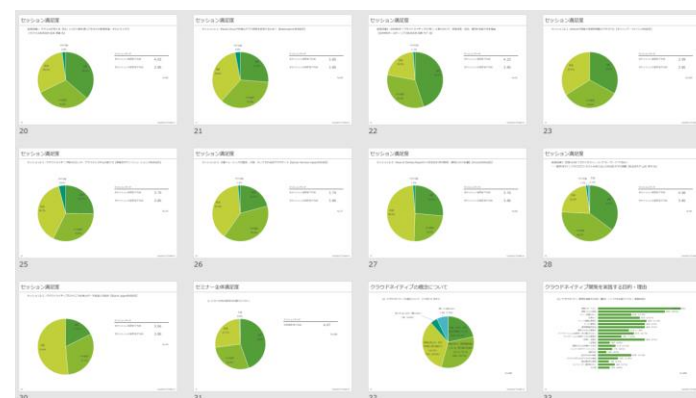
全リスト

ゴールド

セクション

開催報告書

ITmediaで一般来場者へ全体アンケートを行っており、その集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供いたします。
開催報告書内は個人情報を含まない、集計データでの提供となります。



プラチナ

全リスト

ゴールド

セクション

Cloud Native Week

協賛プラン

	プラチナ	ゴールド	全リスト	セクションリスト
スポンサーセッション	● Live配信+アーカイブ	● Live配信+アーカイブ	—	—
スポンサーアンケート	●	●	—	—
全申込者リスト ※想定500名	●	—	●	—
協賛セクション申込者リスト	—	想定250名	—	想定250名
自セッションの 視聴者データ・レポートサイト	●	●	—	—
事前アンケート結果	●	●	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●	●	●
資料配布	●	●	—	—
開催報告書	●	●	●	●
	¥2,700,000-	¥2,000,000-	¥1,400,000-	¥900,000-

※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の前
 事前申込者データ数に達しない可能性があります。
 ※セッションスポンサーが4社未満の場合、実施は見合わせとなります。
 ※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

(すべて税別・グロス価格)

セットメニュー アフターフォローセミナー

編集部が貴社の訴求メッセージと読者の関心を掛け合わせた企画を設計！
講師のご提案・アサインから集客・配信までITmediaがサポート致します。

同時申込割引！

¥2,450,000-

編集部や基調講演講師との
パネルディスカッションも可能！
※パネルディスカッション登壇は最大4名まで



集客人数の
追加も可能

ご提供価格

¥2,300,000-

集客保証

60名登録

登壇者アサイン

編集部1名 + 講師1名

セミナー時間

1回 40～60分まで

実施内容

- ・弊社規定テンプレートによる集客ページの制作
- ・ITmediaメルマガによる集客
- ・ITmedia指定スタジオ又はZOOMによる遠隔での事前収録
- ・セミナー当日の配信サポート
- ・MP4ファイル又はホスティングURL納品（ホスティング有効期限1年）

対象媒体

@IT

ITmedia
メルマガ
登録者

メルマガ会員と獲得リストの対象者を
セミナーに誘導



貴社の
既存リード

- ・講師の希望内容によっては追加費用が必要となる場合がございます。
- ・集客保証60名は集客ページの内容が30営業日前にFIXできることが条件となります。
- ・ご希望いただくセミナーテーマによって、集客可能人数が変動する場合がございます。
- ・集客はノンセグメントとなり、ライブ/オンデマンド配信合わせての保証数となります。
- ・収録動画の編集は行いません。
- ・収録動画の二次利用には講師との調整が必要な場合がございますので、別途ご相談ください。

詳細は商品資料をご参照ください (<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>)

プラチナ・ゴールドプランスポンサー限定！

セットメニュー

タイアップ記事への行動履歴ターゲティング誘導

読者の行動データ（記事閲覧履歴）を基に「興味・関心」を特定し、「興味・関心」の高い人を貴社タイアップ記事へ誘導します。
読者の行動データを外部サービスへ連携し拡張配信を行うことで、アイティメディアに訪れたことが無くても、同じ「興味・関心を持つ人」を捕捉することで読者のリーチが広がります。

タイアップ記事を制作



興味関心がある人だけを抽出



ご提供価格

¥1,500,000-

協賛社様限定！
定価
¥1,700,000-

保証PV

5,000PV

掲載期間

最短1週間～最長2ヶ月
(保証PVを達成次第終了)

仕様

3,000～4,000文字、図版2～3点

実施内容

- ・タイアップ記事 1本制作
- ※本メニューは、ライブ/オンデマンド配信、録画データ等を視聴しながら要点をまとめるものです。別途取材は行いません。
- ・読者行動データを基にタイアップ記事への誘導広告
- ・閲覧レポート（PV,UB,閲覧企業等）

対象媒体

@IT

※制作した記事広告の著作権は、当社および制作スタッフ（ライター、カメラマンなど）に帰属します。
※著名人のアサインや、遠方への取材などが必要な場合は、別途料金を頂戴いたします。
※印刷物でのご利用は二次利用費が発生いたしますので、利用をご希望される場合は担当営業までお問合せ下さい。
※お申し込み後、広告主様の都合で合意いただいた内容から大きく変更を行う場合、追加費用が発生する場合がございます。

- ・本サービスは、オーディエンスの拡張配信及び、外部メディアを利用したプランとなります。
- ・外部メディアの利用先はアイティメディアが内容に応じて、最適な配信先を選択します（指定出来ません）
- ・誘導原稿はアイティメディアが準備いたします（事前の確認・指定はできません）
- ・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします。

お申し込みからの流れ

2022年6月24日(金)

申込締切

締め切りまでに**利用申込書**を担当営業にご提出ください。
用紙及びご提出先は担当営業よりご案内させていただきます。

一般向け
告知準備

イベント告知にも関連する、セッションのご講演者情報、ご講演タイトル、
貴社ロゴデータなど合わせてご提出いただく、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

7月下旬～

イベント告知
開始

事務局にて、集客のためのイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。

開催準備

開催に向けて、**配布資料・視聴者向けセッションアンケート設問・動画納品の場合
のご講演データ**などを事務局にご提出ください。
開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送りさせていただきます。

2022年9月14日(水)
～9月16日(金)

イベント開催

イベント本番となります。ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までに弊
社スタジオ受付にお越しください。また、開催中は**レポートサイトにてリアルタイムにセッ
ション視聴者数**などをご確認いただけます。

終了後～

会期終了

会期終了後、**3～5営業日以内に事前申込者のリスト**ご提出させていただきます。
また終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。※予定
開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出させていただきます。

※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。

Appendix

セッションの視聴画面イメージ

ご講演者情報

貴社名と合わせまして、ご講演者様の氏名、肩書、お写真を掲出させていただきます。

配布資料

貴社セッション視聴者様に向けての配布資料を設置可能です。
最大3点まで設置できますので、ご希望の資料を支給ください。

Q&Aフォーム

ご希望の場合は視聴者からの質問を受け付けるQ&Aフォームをご利用いただけます。



ご講演映像

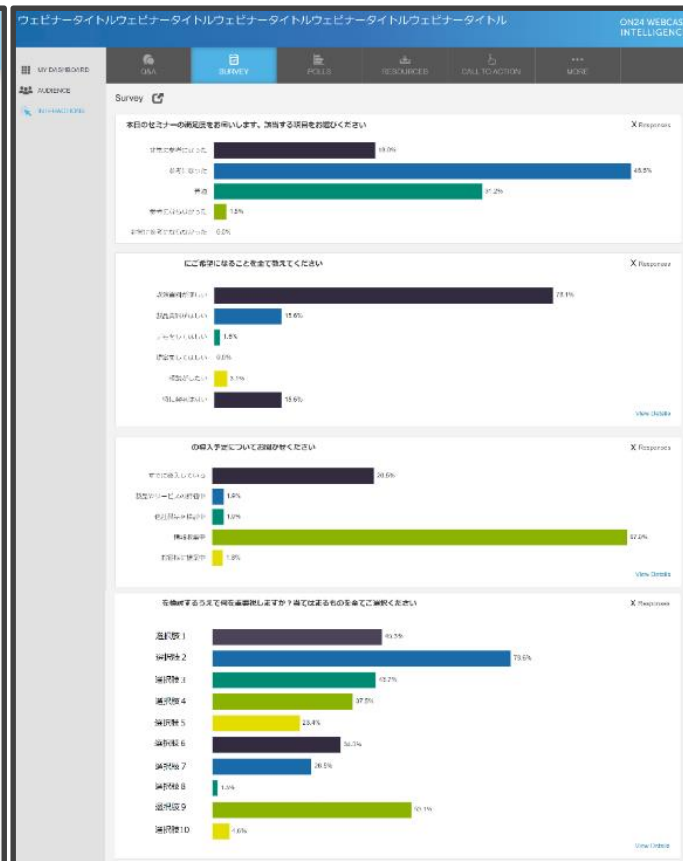
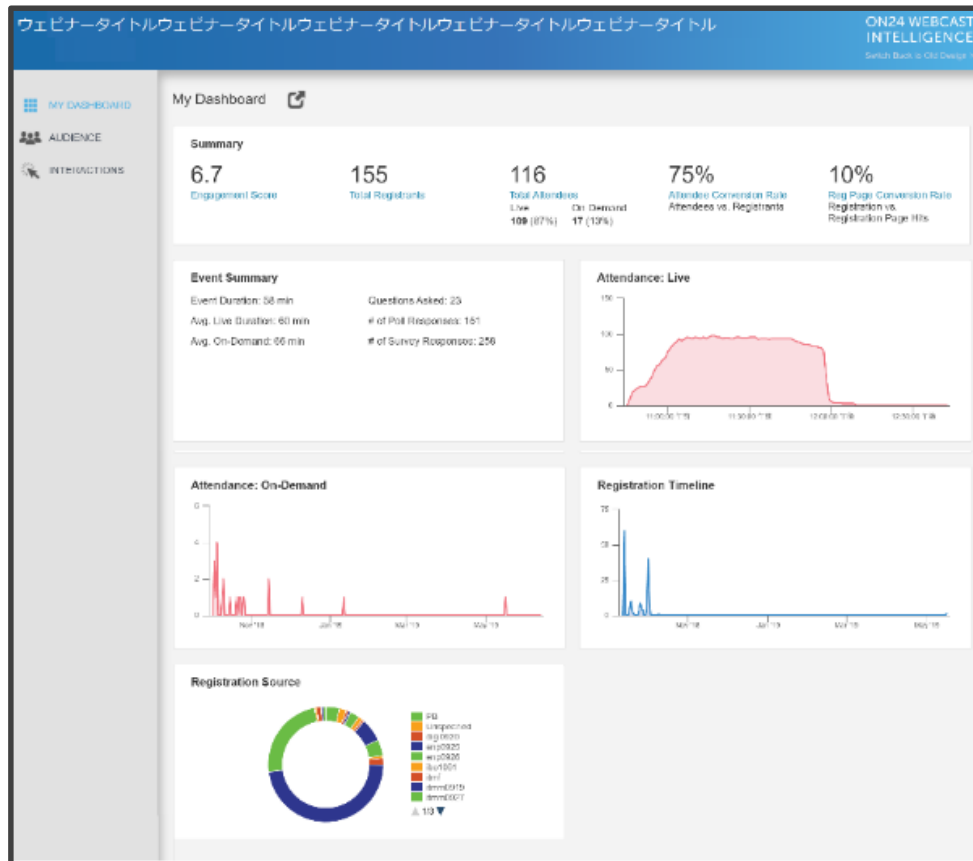
ご講演の映像を放映します。
ライブ配信で投影資料がある場合は、事前に事務局に送付いただければ、ご講演者様と組み合わせた画面構成に調整いたします。

セッションアンケート

貴社セッションの視聴者様に向けてアンケートを行っていただくことも可能です。
最大9問まで設定可能ですので、ご希望の場合は設問内容をご連絡ください。

レポートサイト

貴社セッションの視聴者をリアルタイムにチェック可能



オンラインレポート掲載項目

- ✓ 視聴者情報
 - 登録項目
 - 氏名
 - 役職
 - 所属社名
 - 従業員規模
 - 業種
 - 職種
 - OS
 - ブラウザ
- ✓ セッションの視聴人数
- ✓ 視聴人数の推移
- ✓ 平均視聴時間
- ✓ 行動履歴（Q&A、資料ダウンロードなど）



媒体概要

ITリーダーの厚い信頼を得る国内最大級の専門メディア

技術解説を中心とした特集記事や連載、Tips、ニュースなどを提供し、システム設計・構築に携わるITエンジニアの大きな支持を得ています。

メディア 構成

システム構築における
すべてのステップで役立つ情報を
4カテゴリから発信

クラウド

Windows

サーバ・ストレージ

OSS

ネットワーク管理

クラウドネイティブ

セキュリティ

AI IoT

AI・機械学習

アプリ開発

アジャイル/DevOps

HTML

プログラミング

データベース

テスト、デバッグ

媒体 スペック

約913万PV／約402万UB
メルマガ購読数約42万件

※2022年1月実績

読者 ターゲット

- ・ ビジネス変革を担うテクノロジーリーダー
- ・ ビジネス／サービスの変革を実現する「仕組み」、すなわち「システム」に携わり企業のIT戦略を左右する存在

59%

ユーザー企業
に所属

67%

係長以上の
役職者

71%

クラウドネイティブ
に関心あり

ご留意事項

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承ください。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォーム（ネクプロ）における障害

ネクプロは高精細な映像、音声を届ける仕組みを搭載し、配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

個人情報の取り扱いについて

弊社メディア主催セミナーにおける参加者等の個人情報または個人情報を含むデータ(以下「本個人データ」という)のお取り扱いに関し、以下の点をご確認下さい。

1. (本個人データについて)

本個人データは情報主体の同意の下で弊社が協賛企業へ提供するものです。弊社は、本個人データの収集に際しては、日本国内の法令、条例、ガイドライン等を遵守していることを保証いたしますが、本個人データの正確性、完全性、有用性については一切保証いたしておりません。

2. (データ授受)

提供する本個人データは、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

3. (利用目的の制限)

本個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスに関する参加者等の情報主体への情報提供（以下「本利用目的」という）に限定してご利用下さい。
本利用目的以外で本個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

4. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

本個人データの利用に際しては、適用される法令、条例、ガイドライン等の遵守をお願いいたします。また、本個人データを元に情報主体へアクセスする際は、必ず「貴社内での連絡先」「本個人データ収集元となったイベント名」および「本個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

5. (管理責任者)

本個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

6. (安全保管)

本データの漏えい、滅失またはき損の防止その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を合理的な範囲で講じてください。

7. (再提供)

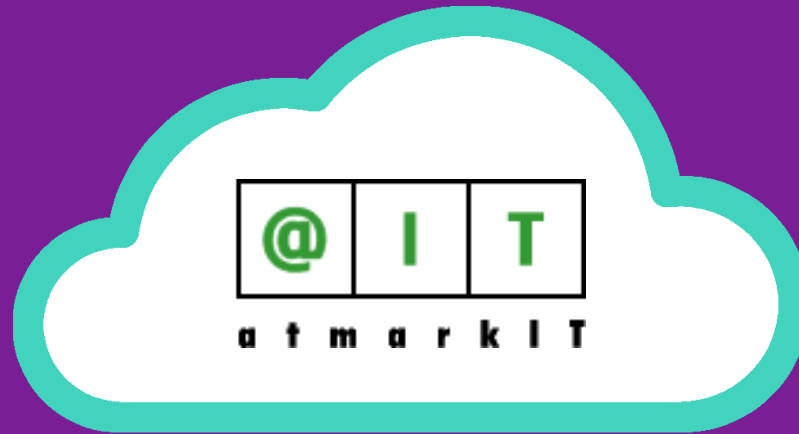
本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に弊社及び情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。
また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。



アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル12/13F

MAIL : sales@ml.itmedia.co.jp